

# 環境・ライフラインカンパニー

## 多様な機能材料で、インフラ課題を解決し、社会基盤を支える

### 概要

環境・ライフラインカンパニーは、日本国内で有数のシェアを誇る給排水管や建設部材の生産・販売を基盤事業とするカンパニーです。昨今は、人手不足やインフラ老朽化、気候変動など、深刻化・複雑化しながら増大する社会課題の解決に資する、重点拡大製品の採用拡大と市場創出を進めています。また、海外では環境負荷を低減する「鉄道向け合成まくらぎ (FFU)」や、老朽化した下水管の更生方法「SPR工法」を中心に、アジア・欧州でのさらなるビジネス拡大をねらいます。国内での成功モデルを水平展開できるエリアを選定し、海外でも通用する製品を増やすことで、エリア拡大・深耕を目指します。

### リスクと機会

当カンパニーにおける業績影響リスクとしては、民間の建設需要の落ち込みや、公共事業予算の動向があります。また、昨今の建設現場の人手不足や、新型コロナウイルスなど感染症拡大による工事遅延もリスクとして認識しています。一方、そうしたリスクを当カンパニーではビジネスの機会ととらえ、建設現場での3密を予防し省人化に貢献する配管材や、防災・減災に貢献する製品を提供していきます。



6 住宅用給排水システム



11 高耐久・耐薬品性能のプラント製品



11 耐震型高性能ポリエチレン管



10 航空機向け内装プラスチックシート



9 管路更生方法 (SPR 法)



3 Wells 大型ユニットバス



12 高機能樹脂 (MIGUSA)



12 鉄道向け合成まくらぎ (FFU)



## 平居 義幸

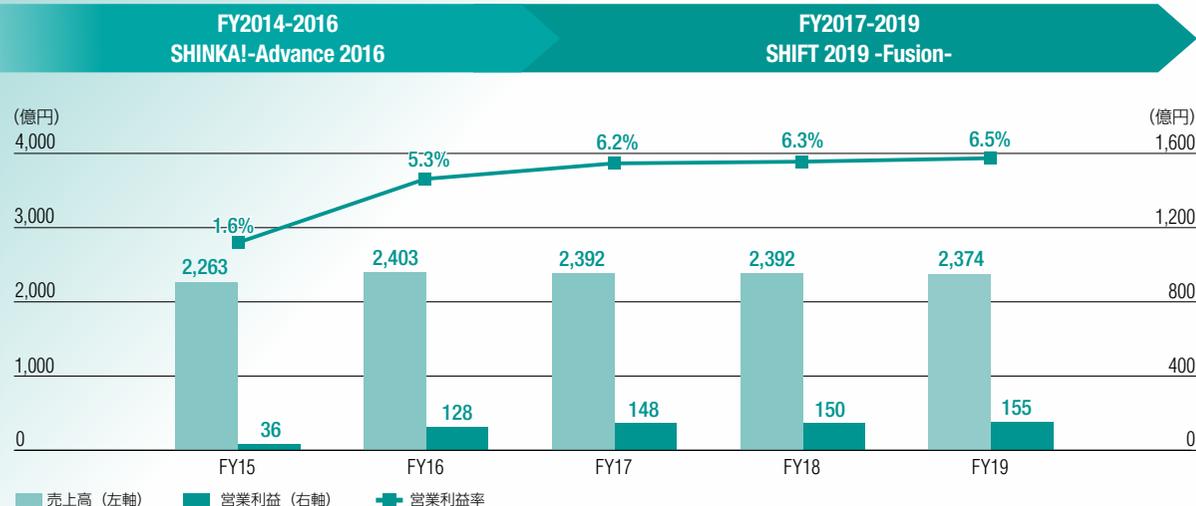
環境・ライフラインカンパニー プレジデント

2022年度までの中期経営計画におけるプレジデント方針を、「UIEP品質を極めてSDGsに貢献しよう～社会課題を解決するプロフェッショナル集団へ～」としました。「UIEP\*品質」とは、開発・生産でのモノづくり段階のみならず、提案・販売、お客様の使用に至るまで、各段階で高いレベルの安心と信頼をお届けし、社会課題を解決する製品を提供することです。それはメンバー一人ひとりの「ヒト」としての高い品質、つまりプロフェッショナル集団になってこそ実現できると考え、「モノ」だけでなく「ヒト」の品質を兼ね備えることをUIEP品質と定めます。UIEP品質を高め、極めていくことで、業績だけでなく名実ともに真のREBORNを目指します。

※UIEP (Urban Infrastructure Environmental Products) : 環境・ライフラインカンパニー

## 業績推移と前中期経営計画の振り返り

## 業績推移



外部環境 2014年4月

消費増税  
5%→8%

2019年10月

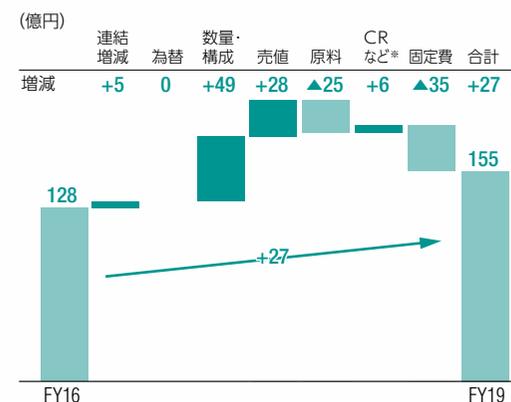
消費増税  
8%→10%

2021年7-8月

東京オリンピック

前中期経営計画における2019年度売上高は2,374億円と、2016年度対比で1%の減収でしたが、これは主に国内での低採算製品群の撤退を進めたことが要因です。固定費は成長投資や生産再編を含めた事業基盤固めの投資を行ったことにより、償却費を中心に増加しましたが、営業利益は、高付加価値かつ成長が期待できる重点拡大製品および、海外における高付加価値製品の拡販、売値と原料のスプレッド確保により、2016年度対比で21%の増益となりました。特に高付加価値な重点拡大製品は、毎年9%ずつ伸長させることができました。海外売上高は2016年度対比18%増と伸ばしましたが、2019年度は市況の影響を受けて苦戦しました。今後の課題は、住宅着工減などで需要減が見込まれる汎用製品群のさらなる収益性の改善と、海外での成長を加速させることです。

## 営業利益増減要因分析



(億円)	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19
資産	1,791	1,939	2,071	2,167	2,169
ROIC					7.3%
EBITDA	134	195	214	222	234
減価償却費	64	64	64	70	78
資本的支出	85	67	98	139	136
研究開発費	53	57	61	59	62
従業員数 (人)	5,044	4,789	4,945	5,139	5,242
連結子会社数 (カッコ内は海外)	43 (19)	39 (15)	38 (15)	39 (16)	41 (16)

## 重要実施施策

項目	主な実施施策
成長投資	戦略投資 <ul style="list-style-type: none"> <li>ベトナム Tien Phong 社 (TP 社) との資本提携</li> <li>環境 LL 総合研究所設立</li> <li>航空機向けシートを増産</li> <li>鉄道向けまくらぎ (FFU) の増産</li> </ul>
	新製品 <ul style="list-style-type: none"> <li>新製品 80 件 上市 (重点拡大製品中心)</li> </ul>
構造改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事・施工からの撤退 (国内外)</li> <li>低採算事業からの撤退 (国内外)</li> <li>国内生産子会社の経営統合・品目再編</li> <li>収益性改善 (連結総原価管理)</li> </ul>

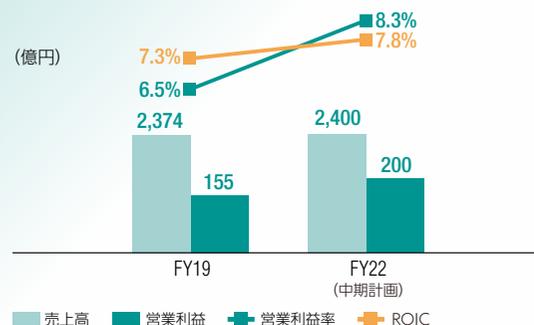
## 中期経営計画「Drive 2022」(FY2020-2022)

プレジデント方針

### UIEP品質を極めてSDGsに貢献しよう

～社会課題を解決するプロフェッショナル集団へ～

- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| <b>1</b> 対象市場の拡大と攻略   | 勝ちパターンの確立、海外拡大    |
| <b>2</b> ROIC経営の浸透    | 事業ポートフォリオの変革、DX推進 |
| <b>3</b> 持続可能な経営基盤の構築 | ESG思考、人材活性化       |



2022年度の売上高は、2019年度対比で微増計画としています。汎用品を中心とする基盤事業は、今後の住宅着工減の影響を受けますが、引き続き深刻化・複雑化する社会課題の解決に資する重点拡大製品のさらなる伸長と、国内成功事例の海外展開によるエリアの拡大・深耕を目指します。営業利益は、重点拡大製品の拡販と海外事業の拡大、原料と売値のスプレッドの確保および合理化投資を進め、45億円の増益をねらいます。また、DXを絡めてさらなる生産再編と自動化投資を推進し、徹底したローコストオペレーション、将来の夜間無人化工場の実現を目指すとともに、事業ポートフォリオ改革の継続や物流の効率化により、投下資本の適正化を図ります。

## アドバンスライフライン

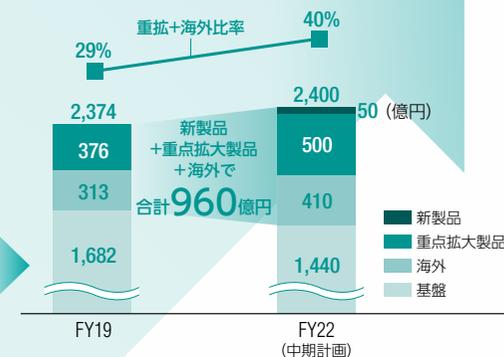
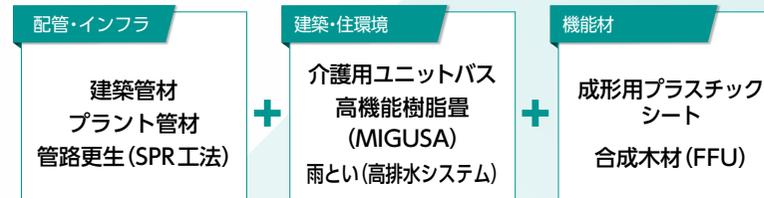
グローバルにインフラ課題を解決し、社会基盤を支える

2030年度  
売上目標 **5,000～5,500**億円

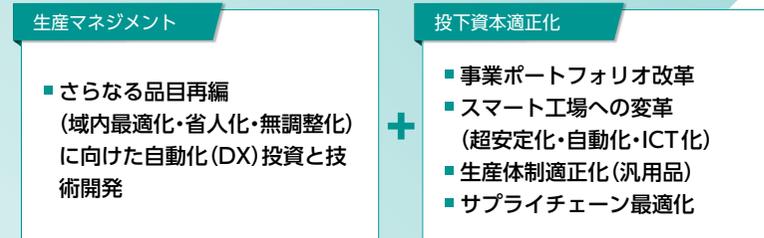
## 未来への 成長投資

### 重点拡大製品・海外売上の拡大

戦略3分野



### 構造改革

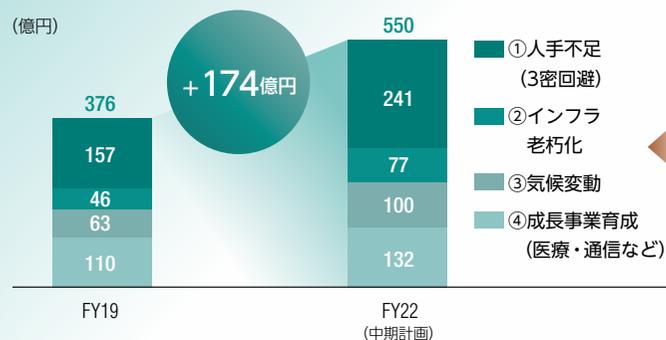


## 成長戦略(重点拡大製品の拡販)

深刻化・複雑化し増大する社会課題を、当社技術を結集した重点拡大製品で解決します。

### 重点拡大製品売上高

2019年度比で1.5倍となる174億円増を計画



### 社会課題と当社技術



#### ACドレンパイプ

結露防止層付き塩ビ管。公立学校のエアコン工事の保温工程易施工化に貢献するとともに、子供たちを熱中症から守ることに貢献しています。



#### ハイパーAWHP

高層建築対応の耐震型高性能ポリエチレン管。柔軟・軽量のプラスチックの特性を活かし、金属管を代替。易施工で、アフターコロナの建設現場の3密予防にも貢献します。

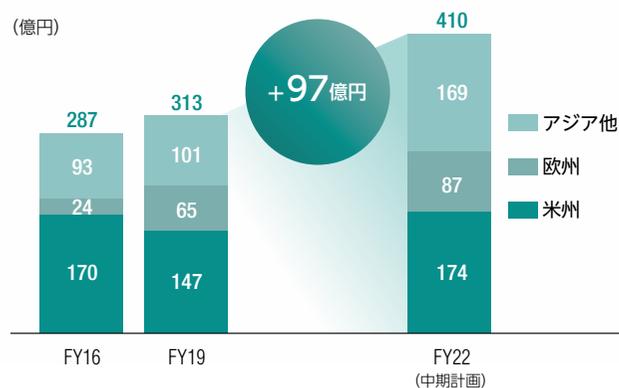


## 成長戦略(海外事業の拡大)

アジア・欧州を中心に事業・製品の多様化を図るとともに、高付加価値製品を中心に、国内の成功モデルを展開し、エリアの拡大・深耕を目指します。

### 海外地域別売上高

※国内製品輸出含む



- 米州: シート事業の用途展開、FFU(枕木用途)拡大
- 欧州: FFU中心に拡大、生産拠点設立を計画
- アジア他: TP社との協業拡大、管路更生事業の拡大

事業・製品	戦略	欧州	米州	アジア
シート	シート市場の用途展開(医療・衛生他) 自動化投資を推進	○	○	●
機能材 (FFU)	生産拠点設立計画(欧州) 加工パートナー拡大	●	●	●
管路更生	施工パートナー拡大	●	●	●
プラント/管材	ベトナムTP社協業拡大 DCプレート拡販	○	○	●
建築管材	空調系参入			●

●: 国内成功事例を展開

#### 鉄道向け合成まくらぎ (FFU)

耐水性・耐久性に優れた樹脂製まくらぎ。防腐剤不要で環境負荷低減に貢献します。需要が旺盛な欧州で生産拠点の設立を計画し、さらなる拡大を図ります。



#### 管路更生「SPR工法」

既設管の内側に施工。道路を掘り返さずに老朽化した下水道をリニューアルできるため、少人数かつ短工期で施工でき、天候に左右されず、工事中の騒音も抑えることが可能です。また、廃棄物の大幅な削減も実現します。



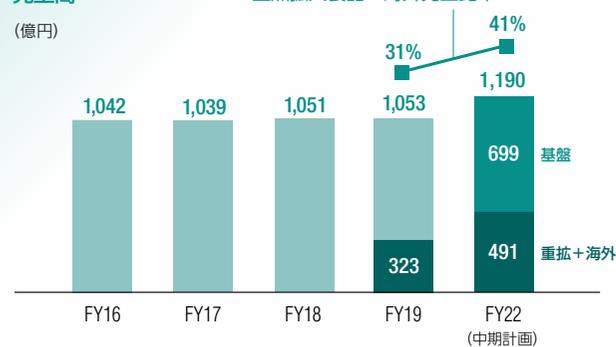
## 戦略3分野の中期経営計画と成長戦略

### 配管・インフラ分野

住宅やビルなど建築物向けの給排水管や空調配管から工場向けのバルブや高機能管、上下水道・農業・電気・ガスなど、社会インフラ向けまで、易施工・工期短縮に資する配管資材を提供しています。また、インフラ老朽化対策に資する管路更生資材や、災害用マンホールトイレなどの防災製品も提供しています。従来からの特長である耐震性や耐腐食性が認められ、金属管から樹脂管に置き換わってきました。加えて、耐圧・高排水などの機能を強化してきたことで、金属管からの代替の可能性が拡大しています。

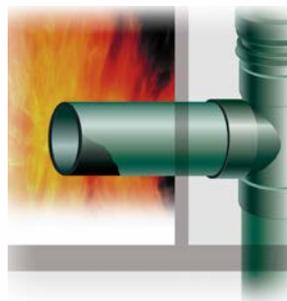
売上高  
(億円)

重点拡大製品+海外売上比率



#### 建物用耐火性硬質塩ビ管・継手「エスロン耐火VPパイプ」

ポリ塩化ビニル層と、高温になると大きく膨張し断熱・耐火層を形成する特殊配合の中間層からなる、業界初の耐火性プラスチック管。別途耐火被覆処理が不要なため、人手不足対策となる易施工化に貢献します。

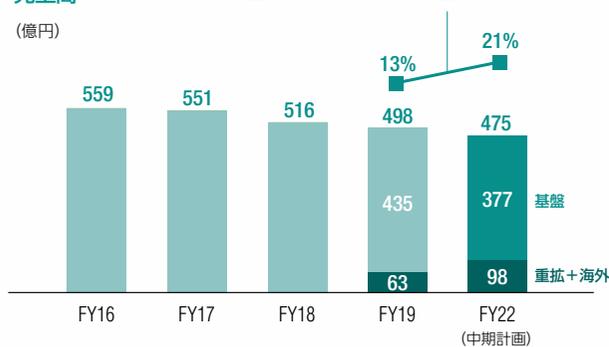


### 建築・住環境分野

ユニットバス、介護・自立支援設備、高機能樹脂畳 (MIGUSA)、内装・家具装飾用プラスチックシートなど内装向け資材や、雨とい・たてとい、エクステリアなど外装向けの建築資材を提供しています。低採算製品の撤退を進めた結果、売上は漸減傾向も、気候変動対策 (豪雨対策) や高齢者介護における負担軽減のための新製品は伸びています。

売上高  
(億円)

重点拡大製品+海外売上比率



#### 大型高排水システム

サイフォン式雨水排水システム。配管口径を拡大することなく集中豪雨に対応する排水量を確保でき、災害激甚化対応製品として、減災に貢献します。



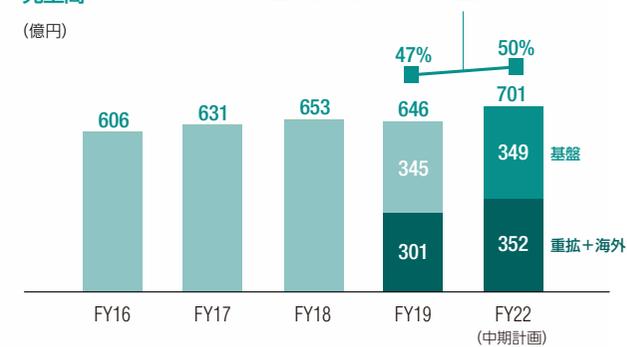
### 機能材分野

航空機内装や建築外装、医療機器筐体などに使用される成形用プラスチックシート、鉄道向けまくらぎとして使用される合成木材 (FFU) や防音材料など、航空・鉄道など輸送インフラ向け資材とともに、医療や工業分野向けに高機能容器を提供しています。さらに、熱可塑性炭素繊維強化プラスチックなど新技術・新素材による市場開拓にも取り組んでいます。

当分野は海外展開も含め、市場の伸長余地は大きく、高付加価値製品の多用途展開を加速していきます。

売上高  
(億円)

重点拡大製品+海外売上比率



#### 航空機向け内装プラスチックシート

難燃性・耐衝撃性があり、デザイン性に優れています。機材の軽量化に貢献し、燃費向上に寄与。今後は医療・衛生用への展開も加速していきます。

